

テーマ／男女共同参画

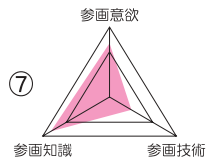
2 「はじめの一步は、まず私から」

参加対象：家庭教育学級、高齢者学級等の参加者または、男女共同参画講座として
 募集人員：30名程度 会場：公民館等



養われる
地域
参画力

- みんなで協力して地域をより良くしようとする事 ①
- 自分だけが一方的に話さずに、相手の話にしっかりと耳を傾けられる事 ⑦
- 地域が抱えている課題に関する情報・知識を持っている事 ⑩



講座全体のねらいと流れ

家庭や地域でいきいきと生きるために、男だから、女だからという性別にとらわれず、自分らしく生きる意欲を育てる。また、お互いを尊重し自分らしく生きることがよりよい地域づくりへとつながることに気づくことができる。

- アクティビティ① あなたはどう考えますか？ 3つのコーナー 【15分】
- アクティビティ② エピソードを読んで、話し合おう。 【60分】
- アクティビティ③ 社会の現状は？ 【20分】
- アクティビティ④ 明日からできること 【25分】

あなたはどう考えますか？ 【15分】

準備物

3つのコーナーのカード

ねらい

参加者が緊張を取り除き、テーマに関する参加者同士の傾向を把握する。

- ① 部屋の3隅に「男性」「女性」「どちらともいえない」と書いた紙を貼り、質問に対しいずれかのコーナーに移動する。

質問例

- PTA会長として信頼されるのは？
 - 夫の母親の介護が必要。共働きでも早く帰宅した方がいいのは？
 - 町内会の会合でお茶の準備をするのは？
- ② 各コーナーの数人が、選んだ理由を発表する。
 ③ 最後の質問の後に、できるだけ違った考えの人が同じグループになるように、4～5人グループをつくる。

アドバイス

決まった答えがあるわけではなく、思いついたまま、どこかに移動するようにしましょう。

アドバイス

違った考えの人でグループを組むことで、いろいろな考え方にふれることができます。

II (1) 男女共同参画をととしたプログラム（単発講座）

エピソードを読んで、話し合おう。 【60分】

ねらい

家庭内のエピソードを読んで話し合い、自分自身や参加者の考えに気づく。

- ① 話し合いで気をつける3つのお願いについて確認する。
・尊重 ・参加 ・守秘
- ② グループ内で自己紹介をする。
・名前
・例 「男のくせに」「女のくせに」と言われて嫌な思いをした体験
- ③ エピソードを読んで話し合う。
●エピソード1 ・タクヤの気持ち
・シズカの気持ち
●エピソード2 ・感想
- ④ グループで出た主な意見を発表する。

準備物

ワークシート
（対象者に合わせて
アレンジP37～38）

🗨️ アドバイス

話し合いの前に、グループのメンバーを大切にするためのルールを確認します。

🗨️ アドバイス

グループの中で、司会、発表者を決めます。扱うエピソードは一つでも二つでもいいでしょう。

🗨️ アドバイス

最初にワークシートに記入し、その後話し合う内容と時間を伝えます。

社会の現状は？ 【20分】

ねらい

国や県、自分たちの住んでいる市町の男女共同参画に関する意識の実態を知る。

- ① 資料を見て、国や県、自分たちの住んでいる市町の実態を把握し、気づいたことや感想を話し合う。

準備物

国、県の意識調査（市町の意識調査）

🗨️ アドバイス

現状を知ることによって、課題意識につながります。

明日からできること 【25分】

ねらい

家庭や地域で、お互いを尊重し、自分らしく生きるためにできることを考える。

- ① 活動をふりかえり、気づいたことや実践していきたいことをワークシートに記入する。
・性別に対する思い込みを持っていないか
・今の自分に何ができるか、何をしたらよいか
- ② グループでふりかえりを共有する。

準備物

イベントのチラシ等

🗨️ アドバイス

今の自分に何ができるかを、考えることで、実践に結びつけていきます。

🗨️ アドバイス

最後に市町の男女共同参画に関するイベントや講座等の案内をします。

付随して期待される効果

性別にとらわれず、その個性と能力を發揮し、お互いを認め合い大切にすることは人権の尊重であることに気づくことが期待できる。

ワークシート

エピソード 1

タクヤとシズカは、共働きの夫婦です。いつも帰宅の遅いタクヤは、今日はめずらしく早く帰宅しました。いつもは妻のシズカが先に帰り、夕食を作ります。

今日は久しぶりにいっしょに夕食を食べました。会話ははずみ、食事を終えたところで、夫のタクヤが、

タクヤ：「今日は、早く帰ってきたからおれが風呂掃除をやっておいてやったからな。ついでに、皿洗いも手伝うよ。」

それを聞いた妻のシズカは、

シズカ：「ええ、ありがとう。明日からもよろしくね。」

ワーク1 / それぞれの気持ちを考えてみましょう。

●タクヤの気持ち…

●シズカの気持ち…

エピソード 2

〇〇さん宅のカズコさんが、今年退職した夫のヒロシさんに

カズコ：「お父さん、洗濯は私がやるから、やめてくれませんか？」

私、恥ずかしくて。買い物も私が行きますよ。お父さんがスーパーでかごをさげているなんて、私が何もやらないみたいじゃないですか。息子や孫にもそんな姿見せたくないんですよ。」

ヒロシ：「なんで？おれは好きでやっているんだよ。」

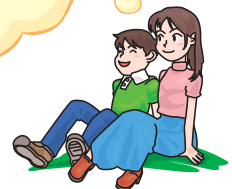
ワーク2 / 感想を話し合ってみましょう。

ワーク3 / 意識調査を見て、気づいたことや感想を書きましょう。

ワーク4 / 活動をふりかえり、どんなことに気づきましたか。

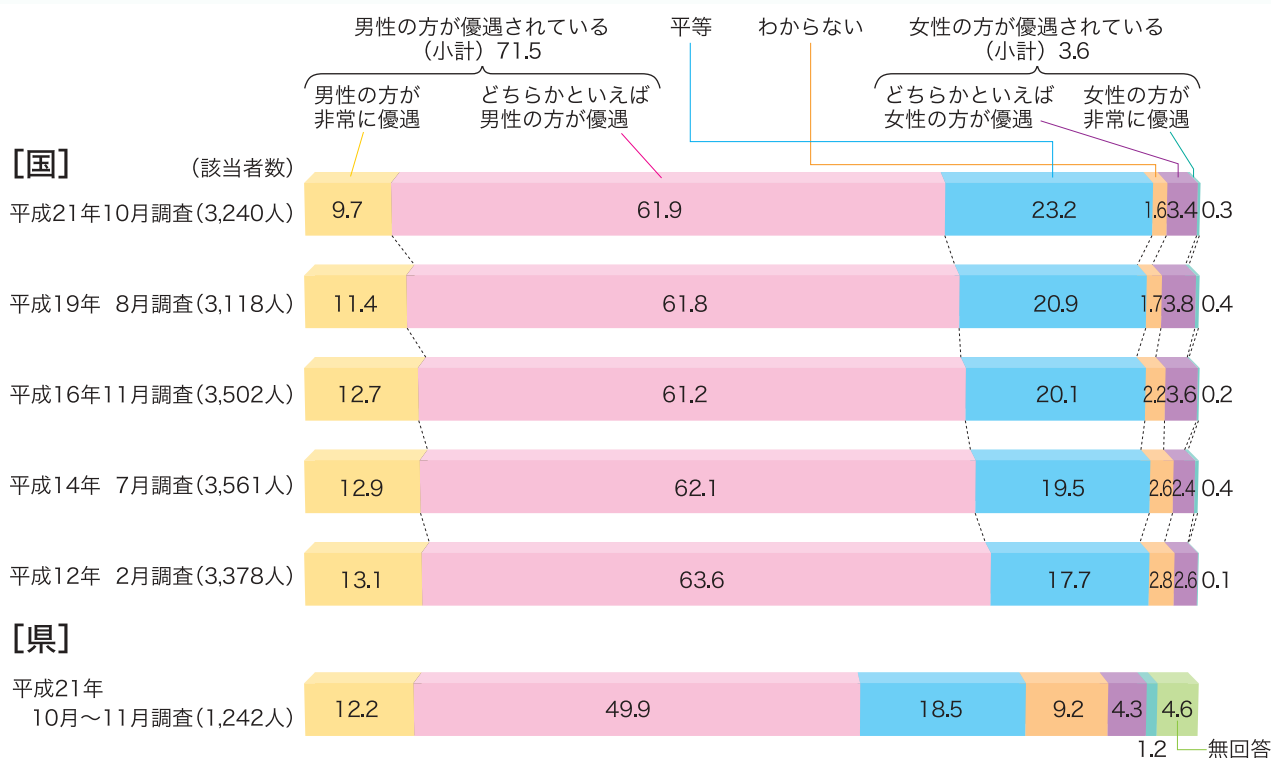
わたしのはじめの一步は、

家庭や地域で
できること



資料編

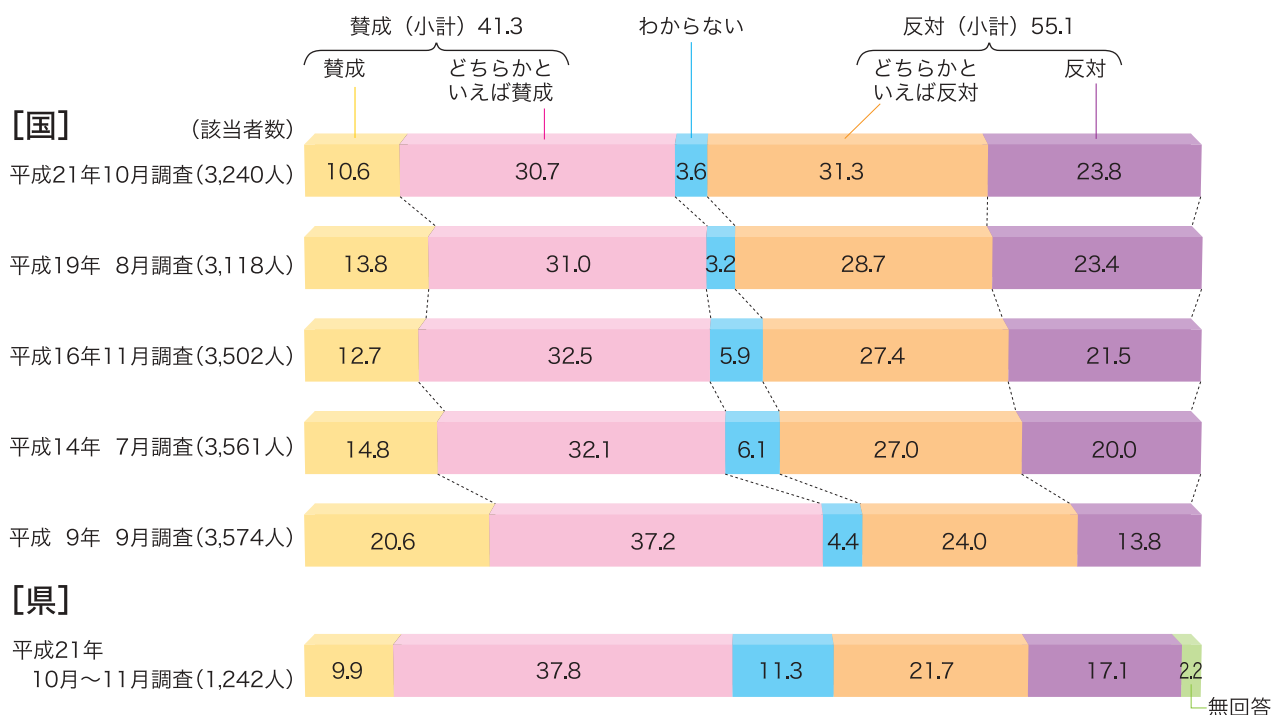
◎男女共同参画に関する意識調査1（国と県）
※男女の地位の平等感（社会全体）



備考：[国] 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成21年10月調査より）

[県] 栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査」（平成21年10月～11月 栃木県県民生活部青少年男女共同参画課調査より）

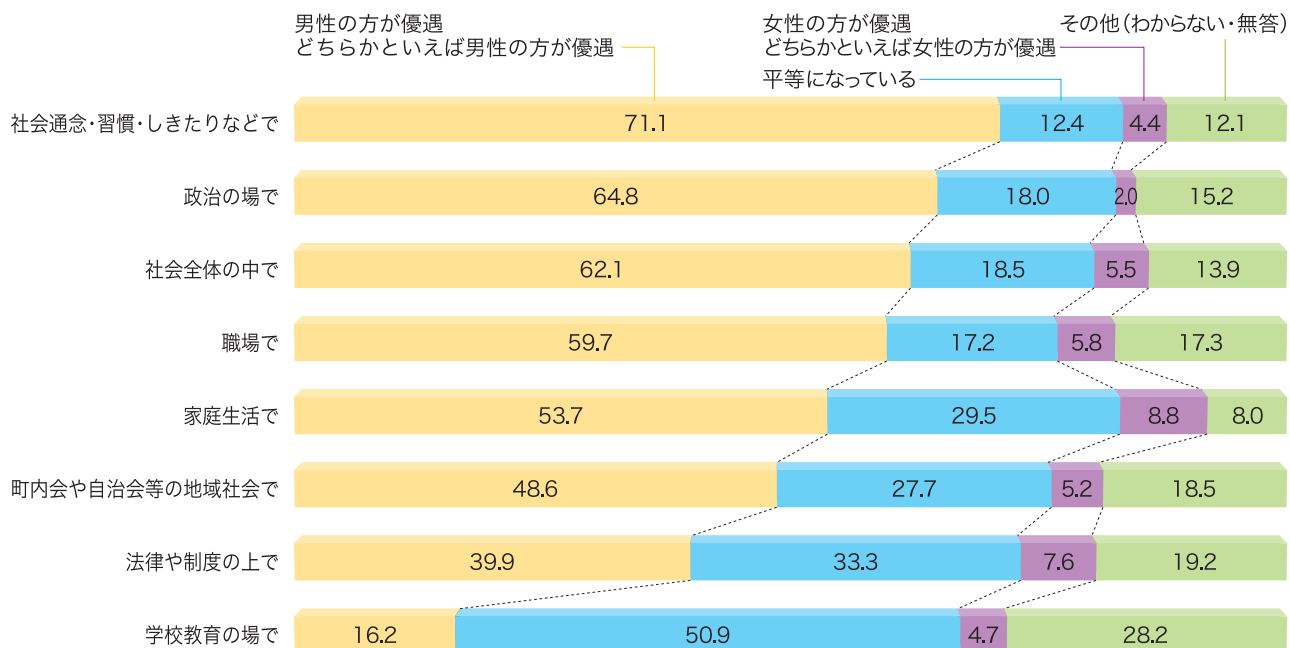
◎男女共同参画に関する意識調査2（国と県）
※固定的性別役割分担意識「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」



備考：[国] 内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」（平成21年10月調査より）

[県] 栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査」（平成21年10月～11月 栃木県県民生活部青少年男女共同参画課調査より）

◎男女共同参画に関する意識調査3（栃木県）
※男女の地位の平等感（分野別）



備考：栃木県「男女共同参画社会に関する意識調査」（平成21年10月～11月 栃木県県民生活部青少年男女共同参画課調査より）

参考

📖 導入や話し合い、まとめで活用できます。

※「男なんだから…」「女のくせに…」なんていわれて、おかしい！変だ！と感じることを川柳に表わしました。

- 休み寝る 夫の横で 家事・育児
- オイ、ビール 言ってみたいな テレビ見て
- おかしいよ どうしていつも 「○○さんの奥さん」なの
- 女子だけに 輪番がある お茶入れ・掃除
- 家事をする 父の背中を 見て育つ
- 「女の子」 私は料理が 大ニガテ
- 試食して 意外とうまい だんなの料理
- 都合よく 女らしさを 使い分け
- 体育着 男子の着替えは いつもろうか
- 「男なら 耐えて見せろ」と 妻はいう
- 「男でしょ！」 その一言で 荷物もつ
- 何故なんだ いつも男が 精算を
- 古希すぎて 炊事洗濯 好きになり
- 育休で 妻と気持ちを わかちあう



バルティとちぎ女性センター『ジェンダー川柳集』編（平成15年発行）より